

# にこにこ家族新聞

滑川市立西部小学校  
令和2年1月30日  
第5号

## にこにこ家族で心もぽかぽか！

今年度もあとわずかとなりました。1月も「あつまれ！にこにこ家族」にご協力いただきありがとうございました。また、前回のにこにこ家族新聞において、手伝いに関するアンケートを記載したところ、たくさんのご意見、アドバイスをいただきました。今月号（第5号）では、アンケートに書いていただいたことを中心に、Q&Aの形で紹介していきたいと思っております。子供の意欲を引き出す声のかけ方や、子供ができるようになってよかったと感じる手伝い等、参考にいただければと思います。最後になりましたが、アンケートをご提出いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

### 「手伝いしよう」「手伝いたい」という気持ちを起こさせる声のかけ方

アンケートを集計した結果、やはり「ありがとう」と感謝の言葉を伝えることや、「しっかりと褒める」というご意見が多かったです。「ありがとう」の言葉はやっぱり魔法の言葉ですね。そして、褒めることで、子供はより頑張ってくれるそうです。つい、「もっとこうしたら…」などと欲張ってしまいがちですが、そこはこらえて下さい。感謝の言葉を伝えつつ、頑張った子供たちをしっかりと褒めてあげましょう！

### こんなときはどうしたらいい？にこにこQ&A！！

Q：「〇〇手伝って！」って言っても、聞いてないふり、どうしたらいいのでしょうか。

A：「〇〇できる？」「してくれる？」と疑問形で聞くようにしています。そうすると、思いのほか子供は素直に手伝ってくれます。また、「〇〇ちゃんに頼むのはまだ早いかな。無理だね。」と言うと、「そんなのできるよ！」と関心が向くこともあります。子供の気持ちに余裕があるときに声をかけるのも効果的です。子供にも優先したい順番があるみたいです。

Q：手伝いはしてくれるのですが、遅くて困っています。結局手伝いを手伝う形になっちゃって・・・。

A：親自身が時間にあまり余裕がないときは特にそうなりますよね。場合によっては、あえてそういう時は頼まないというのも一つです。そうでないと、親が子供を焦らせてしまったり、素直に褒めてあげられなくなったりしてしまうので。

Q：褒めたい気持ちはあるのだけど、そもそもうちの子はなかなか動いてくれないんです・・・。

A：低学年のうちは素直に取り組んでくれることも多いですが、年齢とともに（反抗期含む）手伝いをしてくれなくなる子供も多いと思います。ただ、声を掛けるだけではだめということですね。そんな時は、親子でじっくりと話し合い、①家族として助け合うことの大切さや、②社会に出てから役立つこと、③助け合いや思いやりの心等、一緒になって考える時間をもつといいと思います。

Q：興味のない仕事はしてくれません。好きなことはやってくれるのですが・・・。

A：兄弟、特にお兄さんやお姉さんがいる場合は、一緒にやってもらうといいと思います。お手伝いの楽しさが分かったり、手伝い方も教えてくれたりするので、楽しく仕事をしてくれます。

### 「させてよかった！」お手伝いランキング！！

ランキング	内容	理由
1位	食事の配膳・片付け	すぐに取り組めるし、実際すごく助かる。低学年からでもできるので、食事のあとは、学校の給食のように「自分が使ったお皿やお椀は運ぶ」を家でも当たり前にしてもらうといいですよ。
2位	お米とき、料理	小さいころから分量を量ったりできるようになるとよいです。洗い方も覚えられます。初めて教えたときに「洗剤は使わないの？」と聞かれたときはびっくりしました。また、教えるのは大変ですが、作る人の気持ちも分かってもらえるようになるので、以前より「おいしい」や「ありがとう」と言ってもらえる機会が増えました。
3位	洗濯物（干す、取込む、畳む等）	時間がかかる作業なのでやってくれるとありがたい。それに、裏返しになった服を見て、洗濯機に入れる前の服の脱ぎ方も気を付けてくれるようになります。
4位	掃除（部屋、風呂等）	びかびかにしてくれると、心がぽかぽかしてきます。子供自身も、「友達が遊びに来た時に恥ずかしくないように」と意識することができます。
その他	○買い物の際の荷物運び（特に祖父母と出かけるときは自然と荷物を持ってくれるようになりました） ○弟や妹のお世話（家事をしていると遊んであげられないので助かります） ○子供が「やりたい」と思ったことなら何でも（次も自分から仕事を探してくれるようになります）	

